

WAFP関東 総会イベント開く

「行動ファイナンスと投資家心理」で講演

不合理な行動変えるアドバイス伝授



大江氏

WAFP関東（女性FPの会）は5月23日、アイビーホール青学会館（東京都渋谷区）で第14回総会を開催した。それに合わせて行った総会イベントで、企業の従業員教育などを行うオフィス・リベルタスの大江英樹氏が代表として「行動ファイナンスと投資家心理」について解説し、

「FPには、人々が陥りやすい不合理な行動を合理的な行動に変えるためにアドバイスすることを期待する」と強調した。当日はWAFP関東の会員を中心に約100人が参集した。

野村證券で25年間にわたって投資相談に携わった経験を持つ大江氏は、「人々は常に合理的に行動するとは限らない」という前提に基づいて、合理的な判断ができなくなる理由と、その結果として陥る不合理な行動について解説した。その中で保険について言及し、「保険は長期間加入するため、最終的には大きな買い物になる。このため、お金のプロであるFPは顧客

に適切なアドバイスを必要がある」と述べ、FPとしての使命と役割の重大性を強調した。

整理してたまされないようにすること、価値を見極めることなどのポイントを示した上、「資産運用で間違わな

いたためには分散投資の実践とリスク・リターンの関係を理解することが最も重要だ」と強調した。



満員になった会場

また、顧客へのアドバイスについて、「消費行動」「資産形成」「資産運用」に分けて説明し、必要にしていくものを明確にすることや、情報や、講演会終了後には、大江氏を交えて名刺交換会が行われた。WAFP関東は、関東・東北・北海道で活動するファイナンシャル・プランナー（FP）で組織する団体。「女性ファイナンシャル・プランナーの研さんと交流、社会貢献を目指す団体」をスローガンに2000年から活動している。